



発行所  
〒371-0026  
前橋市大手町2-14-6  
Tel.027-221-2746  
E-mail  
mae-cato@pop17.odn.ne.jp  
Web  
<http://www.maecato.org>

# 甦った青年

御前 ザビエル 神父

第2次世界大戦が終わって  
から数年後の話です。

フランスのある田舎に一人  
の医者がいました。彼は、当  
時厳しい労働に苦勞していた  
農夫たちの病氣や怪我を治療  
するために、いつでも、どこ  
へでも、どんな天気であって  
も飛んで行く献身的な医者で  
した。

ある夜中に、緊急連絡が入  
りました。かなり辺鄙な村の  
農家からでした。家で預かっ  
て働いている17歳の青年が、  
変なものを飲んだらしくて、  
ひどく苦しんでいるので、で  
きるだけ早く来て、その青年

を診て欲しいという内容の連絡でした。

青年は、中学校を退学して、2～3回家出したあ  
げく、お百姓さんの家に拾われていました。一応助  
けられましたが、与えられた仕事は、汚い、きつい、  
危険そのものでした。住まいとして与えられたのは、  
風や雨が板のすきまから入ってしまうみすぼらしい  
小屋でした。牛や豚の家畜小屋とあまり違いのない  
ものでした。寝床は、板で作った箱のようなものに、  
わらが敷き込んであるものでした。面倒を見てくれ  
たその家族から、愛情を受けるところか、  
杖で叩かれ、働け、働けと言われて、奴  
隷のようにこき使われていました。優し  
いことばも労りもなく、青年はだんだん  
孤独になっていくばかりでした。とうとう  
生きる希望もなくなって、深い絶望の  
ふちに沈んでいました。そして、耐えら  
れないこの苦しみに解放されたいと思  
い、青年は、農薬をたくさん飲んでしまっ  
たのでした。

夜中に連絡を受けた田舎の先生は、雨  
水が溜まったでこぼこ道にひどく揺れ動  
く、傷だらけの古い車を走らせました。

闇の中、目指していた農家の窓から薄暗い明かりが  
見えてきました。案内された小屋にはかすかな光を  
放っている一本のロウソクしかなかったので、先生  
には青年の姿がよく見えませんでした。しかし、腹  
を押さえて、気絶するほどにもがき苦しむうめき声  
が聞こえてきました。

青年は、

「先生よ、死なせてくれ」

「死ねるように助けてくれ」

としきりに言うばかりです。

先生は落ち着いて、青年の苦しみに耳を傾けまし  
た。

「本当に死にたいの」

「うん、死にたいよ」

そのとき、奇跡が起こりました。先生は、横たわっ  
ていたわらの寝床の端に青年を座らせて、強く、長  
く、抱きしめ、涙にぬれている青年の苦しみに引き  
つった顔を優しく愛撫しました。青年は、生まれて  
初めて優しくされてびっくりしました。初めて人の  
温もりを味わいました。青年の心がすっかり変わ  
りました。

「先生、おれは助かりますか」

「助かるとも」

と先生は安心させて、青年の胃を洗浄し始めました。  
青年は、初めて出会った人間味豊かな先生の優し  
さと愛によって生き返り、助かりました。

この先生のとてくれたことは、神がお生まれにな  
った主イエスを通してわたしたちにしてくださったこ  
とと同じです。人間は、青年のようにも  
だえています。闇の中を歩み、孤独、恐  
れ、不安、まことの生き甲斐をなかなか  
見出せません。悩んでいる人の苦しみを  
つぶさに見ておられる神は、愛を示そう  
としてくださいました。

クリスマスとは、神が悩んでいるわた  
したちを抱きしめてくださる神秘、迷っ  
ているわたしたちに、「わが子よ、死んで  
いたのに生き返り、いなくなっていたの  
に見つかったのだ」と喜ぶ父なる神の愛  
の現れです。



【2ページへ続く】

【1ページより続く】

イエスの誕生を通して、「すべての人々に救いをもたらす神の恵みが現れました」ことを心から喜びたいのです。クリスマスの夜半ミサに告げ知らせられる福音に、天使の言葉が響きます。

「恐れるな。わたしは民全体に与えられる大きな喜びを告げる」

主イエス・キリストの誕生に示される神の慈しみをたたえることができますように、また、神に倣って、わたしたちも苦しんでいる人々を抱きしめる温かい心を持って、クリスマスの祝いを生活の中で生きることができますように願っています。



## 七五三の祝福



11月5日(日)ミサのなかで、七五三の祝福が行われ、2名のお子さんが祝福を受けました。おめでとうございます。健やかな成長を祈ります。

## カトリック前橋霊園ミサ



11月4日(土)あかつきの村の西側に隣接するカトリック前橋霊園において、恒例の墓地ミサが御前ザビエル神父様と、熊谷教会と行田教会の担当司祭であるマキシム神父様の共同司式で行われました。



## 王であるキリスト

11月26日(日)「王であるキリスト」の祭日に、マルコ・ヴィッラ神父様と御前ザビエル神父様の共同司式でミサが行われました。ミサの前後にマルコ・ヴィッラ神父様は、ゆるしの秘跡を授けてくださいました。また、待降節の間、主日ミサの前後にゆるしの秘跡が行われました。



【説教をするマルコ神父様→】

## 入 門 式



11月26日(日)王であるキリストの祭日のミサの中で入門式が行われ、6名が求道者となりました。

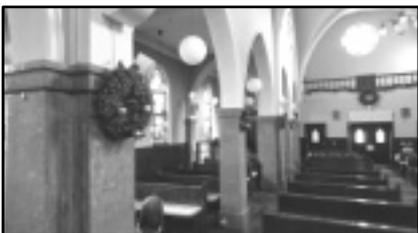
1人ひとり、キリストの道を歩むようになったきっかけや、洗礼に向けての心構え、希望などを表明されました。



## クリスマスの飾りつけ

今年は、12月1日(金)10時のミサの後、有志で、大掃除とクリスマスの飾りつけを行いました。

また、後日主日ミサ後にもイルミネーションの飾りつけなどが行われました。皆様のご協力に感謝。



## 待 降 節 黙 想 会

12月3日(日)待降節黙想会が行われました。指導に「聖ペトロパウロ労働宣教会」のレミ・オード神父様をお迎えし、「先駆者ヨハネと聖マリアに倣って福音を宣教する弟子になる」とのテーマで講話と質疑応答、ゆるしの秘跡を行いました。約40名の参加者があり、静かな雰囲気の中、よい黙想会となりました。



☆ ☆ ☆ ☆ ☆

また、12月9日(土)には、群馬県のフィリピン・グループの待降節黙想会が、29名の参加のもと行われました。

【聖堂の  
クリスマス飾り】



【アレルヤ館のクリスマスツリー】



かずあき  
猪俣一省神父様 帰天



フィリッポ・ネリ猪俣一省神父様が、12月9日(土) 新生会特別養護老人ホーム「誠の園」にて、帰天されました。ご冥福をお祈りいたします。

猪俣神父様の思い出としては、15年ほど前になるでしょうか、伊勢崎教会に赴任され、群馬使徒職協議会典礼部会の担当司祭として四旬節典礼研修会や子ども向けの侍者会夏合宿を指導して下さった頃のことや印象に残っています。事前の打ち合わせの会議においても、行事本番さながらに聖書や典礼について、詳細に、分かりやすくも深みのあるお話しを何度も聞くことが出来ました。

また、神父様のミサ司式も、分かりやすさと心の中からかみしめるかのような祈りの言葉が印象に残っています。

「わたしは平和をあなたがたに残し、わたしの平和をあなたがたに与える《と。どうぞ》わたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧み、おことばの通り教会に平和と一致をお与えください。」

この、「と。どうぞ」と神父様はいつも加えて唱えられていました。これを加えることで、改めて主イエス・キリストのメッセージを受け、それに応え、祈りの言葉を捧げる私達という姿をしっかりと意識しながらミサに与ることが出来るのでした。

そして、手のひらを会衆に向けて大きく頭上で十字を切る派遣の祝福に、いつも力づけられるような思いがしたものです。

厳しくもやさしいお父さん。そんな雰囲気のある神父様であったように思います。また、神父様と大いに呑み、語り合ったひと時も、信徒の皆さんにはよい思い出であったことと思います。

(上北 聖司)

今後の予定

- 12/20 (水) あかつきの村クリスマス会  
11:00 感謝のミサ 12:00 懇親会  
☆ ☆ ☆
- 12/23 (土) 14:00~プライドエッグと前橋教会  
聖歌隊によるクリスマス・コンサート 前橋教会にて  
☆ ☆ ☆
- 12/24 (日) 待降節第四主日ミサ 10:00~  
ミサ前と後 ゆるしの秘跡
- 降誕祭夜半ミサ 19:00~クリスマス・メッセージ  
キャンドル・サービス ミサ  
ミサ後アレルヤ館にて祝賀パーティー
- 12/25 (月) 降誕祭日中ミサ 10:00~  
ミサ後 アレルヤ館にてティー・パーティー  
☆ ☆ ☆
- 12/31 (日) 聖家族 ミサ 10:00~  
神の母聖マリア 年越しミサ 23:30~
- 1/1 (月) 神の母聖マリア 元旦ミサ 11:00~  
ミサ後 茶話会  
☆ ☆ ☆
- 1/7 (日) 主の公現 ミサの中で新成人の祝福
- 1/21 (日) ミサ後 教会学校・ボーイスカウト・  
ガールスカウト合同もちつき大会
- 1/28 (日) ミサ後 新年会
- 2/18 (日) ミサ後 信徒総会

2018年3月13日(火)~3月16日(金)

『さいたま教区平和を祈る沖縄ツアー』

『正義と平和協議会「ロノの会」・青年召命委員会』

共催

★対象: 18歳以上。

★定員: 15名。(先着順 12/31 締め切り)

★参加費:

未成年・学生 60,000円 一般 70,000円

★訪問先: 名護市辺野古・沖縄平和祈念公園・  
ひめゆり平和祈念館・美ら海水族館など。

★宿泊先: 聖クララ修道院 祈りの家

(島尻郡与那原町字与那原 3090-4)

★引率者: 坂上彰神父(栃木北ブロック)

姜神父(埼玉南ブロック) 他